

令和6年度 学習分析事業 課題改善シート 三原市立久井小学校

【別紙1】

1 本年度の結果

①学力定着分析 NRT 偏差値平均

		2年	3年	4年	5年	6年	全体
国語	前年度結果 偏差値平均	/	46.6	50.1	48.8	56	50.4
	本年度結果 偏差値平均	38.4	46.6	48.5	45.6	55	46.8
算数	前年度結果 偏差値平均	/	48.9	50.5	48.7	52.1	50.1
	本年度結果 偏差値平均	43.2	48.6	47.4	44.8	53.7	47.5
理科	前年度結果 偏差値平均	/	/	/	46.9	54	50.5
	本年度結果 偏差値平均	/	/	46.6	47.9	52.7	49.1
全体	前年度結果 偏差値平均	/	47.7	50.3	47.9	54.1	50
	本年度結果 偏差値平均	40.8	47.6	47.5	45.9	53.8	47.1

②全国学力・学習状況調査 正答率平均

教科	国語	算数
前年度結果 (対県比)	67 (97)	57 (89)
本年度結果 (対県比)	79 (114)	71 (111)

2 令和5年度について

①調査から明らかになった課題

<p>【年度当初の学力について】(NRTをうけて)</p> <p>●国語科→2年「作文を読む」15%、「問取り」の応答26% 3年「片仮名」18%、「物語」の心情読み取り56% 4年「説明文・段落内容理解」31%、「物語文・文章からの考察」28% 5年「聞き取り・内容の理解」67% 6年「物語文・場面」の読み取り29%、「聞き取り・役割の理解」46% 多くの学年で長文読解や聞き取り・応答の問題に課題がある。</p> <p>●算数科→2年「式の読み取り・漢字」46%、「数直線」の数22% 3年「π」算式の完成・加法39%、「計算のくさし」42% 4年「円と外接する長方形」10%、「数直線・分数」42% 5年「面積から長さ」を求め11%、「3直角33%」 6年「比例の関係の理解」58%、「小数×小数」58% 領域にばらつきがあるが、どの学年も思考・判断・表現に課題がある。</p> <p>●理科→4年「重さ比べ・ゴムの長さ34%」水に浮かべた磁石38% 5年「ペンタゴムの冬の姿33%」 6年「気象写真・雲の動き28%」砂や石の堆積する場所24% 知識として覚えていても思考・判断・表現の観点の問題に課題がある。</p>	<p>【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査をうけて)</p> <p>●国語科→3. 4年 Oウ. 5年 Oオ 目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかを見る設問に課題がある。(全国90本校79.2) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかを見る設問に課題がある。(全国56.2本校41.7) ●算数科→3年 A(3)ア(ア). A(3)イ(イ). 4年A(4)ア(ア)ア(ア). A(3)ア(ア). A(3)ア(ア) 一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかを見る設問に課題がある。(全国80.8本校66.7) 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方や答えの式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかを見る設問に課題がある。(全国56.7本校49.2) 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかを見る設問に課題がある。(全国72.4本校62.5)</p>
--	---

②課題改善に向けた学校組織全体の重点目標・取組

重点目標 (何を、どの程度達成するか)	達成のための具体的取組 (どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標
<p>【授業改善を通じた学力・学習意欲の向上】</p> <p>○全教諭が、児童の主体性を伸ばすことを意識した多様な選択肢や自己決定のある授業を実施する。</p> <p>○児童の実態に応じた個別最適な学びを提供する。</p>	<p>①校内研修による授業参観を実施する。</p> <p>②自由進度学習を取り入れた単元開発を、全教員が1単元以上行う。</p> <p>③NRTや全国学力・学習状況調査の結果の誤答分析による実態把握と改善計画の立案、共有。</p> <p>④NRTや全国学力・学習状況調査における正答率の低い問題の学び直しをする</p> <p>とともに、類似問題を実施する。</p> <p>⑤1人1人のつまづきに応じた指導をおこなうための時間を確保する。</p>	<p>①年2回以上</p> <p>②6～12月</p> <p>③6～8月</p> <p>④10～3月</p> <p>⑤年間</p>	<p>・Q-U2回目の学習意欲の数値(全学級で全国得点以上)</p> <p>・各学期まとめテスト平均値(全学級85%以上)(NRT評価委支援軍の児童3名の正答率の上昇)</p> <p>・類似問題の正答率(全学級80%以上)</p>
<p>【学級・学習集団づくり】</p> <p>○児童が自分で考え行動する場や自分たちで決めた目標やルールを達成させる場を設定し、自治的な学級集団づくりを行う。</p> <p>○月1回の生徒指導委員会で子どもの様子を交流し、要支援群に所属している子どもたちへの声掛けや対応の実態を学校全体で共有する。</p>	<p>①Q-Uの分析による実態把握と改善計画の立案、改善計画の共有。</p> <p>②毎月の子生指導委員会において児童の様子を交流。</p> <p>③教職員間でのこまめな情報の交換や共有を日常的に行う。</p>	<p>①年間</p> <p>②年間</p> <p>③年間</p>	<p>・Q-U2回目の一次支援の数値の向上(全学年で1回目以上)</p>

3 令和6年度について

<p>【学力調査について】(NRTをうけて)</p> <p>●国語科では、特に「読むこと」の領域に課題がある。話の要旨の大体をとらえたり、解釈したりする力や、文章を読み感想を伝え合う力の定着が不十分である。</p> <p>●算数科では、特に「測定・データの活用」の領域に課題がある。国語科・算数科ともに、無回答率も高い傾向がある。</p> <p>●理科では、特に「天気」に関する領域に課題がある。無回答率は低いが、物の変化や性質を問われる問題に課題がある。</p> <p>●第2学年においては、国語・算数の平均偏差値が、統計的に全国の水準と比べて低い。全体的に学力の定着が不十分である。</p> <p>(全国学力・学習状況調査をうけて)</p> <p>●国語科では「目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討することができる」問題1三(63.0)、「話し言葉と書き言葉の違いに気付く」問題1二(1)(74.1)、「目的に応じて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる」問題2二(63.0)、「漢字」問題2三ア(59.3)に課題があった。情報を整理して表現の工夫を考えると、伝える内容を検討することに課題が大きい。</p> <p>●算数科では「折れ線グラフの読み取り」問題5(3)(33.3)、「速さと道のりをもとに時間について説明する」問題4(2)(29.6)問題4(3)(63.0)、「数量の関係を口を用いた式に表す」問題1(2)(81.5)に課題がある。数値や問題場面を整理することや、それらの関係や答えの導き方を説明することについて課題が大きい。</p> <p>●学習状況調査より、「就寝時間が定まっていない」、「ゲームや携帯電話などを使用する時間が多い」、「家庭での学習時間が少ない」という課題があった。また、「将来の夢や目標」と「相談や困りごとを先生や学校の大人にいつでも相談できる」という項目で肯定的回答が低かった。</p>
--

②課題改善に向けた学校組織全体の重点取組等

重点取組(上記課題を踏まえたもの)	具体的方策(継続して取り組めるもの)	検証指標及び時期
<p>【学力向上について】</p> <p>・まとまった文章を書くこと</p> <p>・文書の読み取り・聞き取り</p> <p>・感想や考えをまとめ、伝え合う</p> <p>・四則計算の確実な定着</p> <p>・図形と測量の領域の確実な理解</p>	<p>①全学年全教科等でのR80の実施(必須)</p> <p>②下線等の効果的な活用</p> <p>③児童の実態に合わせた目標設定とドリルタイムの充実(国語:読む、算数:計算、理科:課題のある単元)</p> <p>④学習端末の効果的な活用による授業改善</p> <p>⑤家庭学習の質と量の向上</p> <p>⑥校内検定テストの実施・分析</p> <p>⑦計算検定の実施・分析</p>	<p>○単元テスト(国語・算数・理科)の平均達成率80%(各学期末)</p> <p>○校内検定テストの平均達成率80%(各学期末)</p> <p>○全学級で授業研究の実施(年間)</p>
<p>【学級・学習集団づくりについて】</p> <p>・支持的風土の醸成</p> <p>・児童生徒が主体の絆づくり</p> <p>・自己肯定感、自己有用感の向上</p> <p>・学習規律・学習環境の整備</p>	<p>①学年を超えた児童のいいところ見つけ「久井小の宝」の実施</p> <p>②児童会を中心とした児童による自治的活動</p> <p>③研究授業や日々の学習の中で児童が対話を通して、考えや表現を向上させる場の設定</p> <p>④小中連携による授業研究</p>	<p>○Q-U2回目での三次支援の数値の減少</p> <p>○児童アンケート「よりよい学級・学校にするため関する項目」肯定的評価80%以上(前後期)</p>